

清流のほとり



令和7年8月27日（水）発行

園長 津田 将美 寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

没頭体験

「うわ～、すご～いい！！」

「へ～え、なるほど！」

7月14日に行われた家庭教育学級では、子どもたちからも教師からも、保護者の皆様から思わずそのような声が上がっていました。講師の槐先生の目も、キラキラと輝いています。

生き物の営みは様々で、種によっては驚くような工夫をしながら、命をつないでいます。その中には、人間の知恵をはるかに超えた生きる力があるように感じます。そして、その営みのひとつひとつが、子どもたちを感動させ、興味関心を高めているようでした。

大人も、自然と引き込まれていきます。

何か一つのことには没頭し、やりつくし、究めていくことは、人としてより良く生きていくために必要な過程なんだと改めて感じました。

役員の皆様、素敵な家庭教育学級をありがとうございました。

槐先生の話に感化されて、2学期の終業式では園長の小学校時代に生き物と過ごした夏休みの話をしました。私が特に夢中になったのは、アリの活動です。

庭の一角にアリの巣があり、そこは夏のお気に入りの場所でした。アリの獲物を運ぶ様子は圧巻です。たくさんのアリが集まり、自分の体より何十倍も大きな獲物を運ぶ様子は、いつまでも見ていられる気がしました。

その姿は協力的、献身的であり、何よりも創意工夫にあふれていました。向きを変え、ひっぱる位置を変え、仲間を呼び更に巣の中へ運んでいく様子をいつまでもながめていたことを思い出します。

これも私の没頭体験で、特に生産性のないものかもしれませんが、決して無駄な時間ではなかったと今は思っています。



2学期が始まります。保育参観で保護者の皆様にお話しさせていただいた通り、幼稚園では「没頭体験」を大切にしています。その過程で、子どもたちに、主体性やねばり強くがんばる心、創意工夫や思いやりの心を育てていきたいと思っています。

2学期も、よろしくお願いいたします。

ありがとう



9月2日より生田目綾先生、3日より荻野莉子先生が産前休暇に入ります。

生田目先生は、幼稚園の子どもたちすべてに深い愛情を向けながら、誰に対しても笑顔で接してくださいました。一人ひとりに寄り添い、一人ひとりのためになることをゆったりと柔らかい心で考え、準備し、実践してくださいました。

荻野先生は、昨年度年少組の担任として、子どもたちが幼稚園の環境に自然と入り込めるように、毎日毎日丁寧な準備をしてくださいました。明るく清潔と周りに接することで、子どもたちが安心して園に通う環境を創り出してくださいました。

お休みに入られることは寂しいことではありますが、とても大切なことでもあります。新しい命の誕生を私たち職員も、子どもたちと共に一生懸命応援していきたいと思っています。

今まで、ありがとうございました。元気な赤ちゃんを産んでください。